

[086] 語文研究表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/10179>

出版情報：語文研究. 86/87, 1999-06-04. 九州大学国語国文学会
バージョン：
権利関係：

編集後記

中野三敏先生は、本年三月三十一日をもって九州大学を定年退官なさいました。最後の平成十年度は、周知の通り、紫綬褒章受章、西日本文化賞受賞という慶事、またソウル大学図書館蔵の古典籍調査等が重なり、先生は例年にもまして御多忙な一年をお過ごしになりました。

国語学国文学研究室では、去る三月六日(土曜日)、中央図書館視聴覚ホールにおいて、先生に「江戸文化再考」と題して最終講義を行っていただき、引き続き九州大学の知友、門下による歓送会を催し、各方面の御尽力によりともに盛会裡に終了いたしました。

本「語文研究」誌では、先生の御退官を記念して、ここに「中野三敏教授退官記念号」を編み、先生の御学恩にたいする感謝の微意を表わすことにしました。

執筆には、中野先生の名補佐役として長年にわたりご尽力いただいている井上敏幸氏以下、大学院在生学生までの十八名から力作をお寄せいただき、実り多き近世文学特集号を世に送ることができました。本誌は、来る六月の国語国文学会の席上で、先生に謹呈する運びになっております。

「定年後は江戸」が口癖の中野先生でしたが、私どもにとってはまだことに僥倖といえ、御退官後も当分は福岡に御在住、四月より福岡大学人文学部において教鞭を執られ、

九州大学の学生も御近所のよしみで、しばしば御指導を仰いでいる模様です。

先生の末長き御活躍をお祈り申し上げるとともに、本記念号の企画を支えてくださった会員諸賢に厚く御礼申し上げます。(今西記)

〈規定〉

- 一、投稿は原則として九州大学国語国文学会会員に限るが、それ以外の方に投稿を依頼することもある。
- 二、投稿原稿は四百字詰原稿用紙三十枚内外を二応の規定とし、その際、二枚程度の要旨を添付されたい。
- 三、原稿の採否等については運営編集委員会に一任されたい。
- 四、刊行は年二回を原則とする。
- 五、刊行会費は現在年額維持会員四千円(各号二部配布)、通常会員二千円(各号一部配布)とする。
- 六、執筆者には別に二部を贈呈し、希望者には抜刷を実費で分ける。
- 七、会員以外の購読者は毎号ごとに誌代を納められたい。